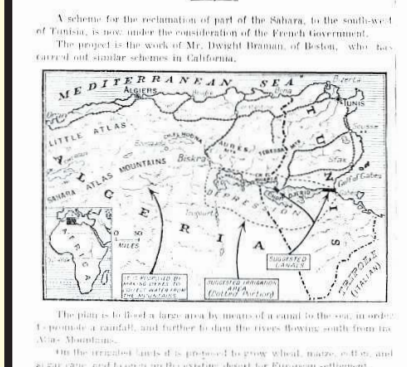
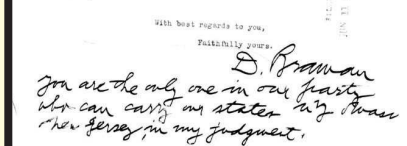
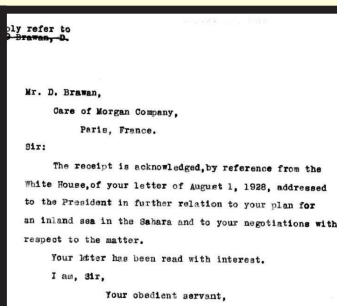
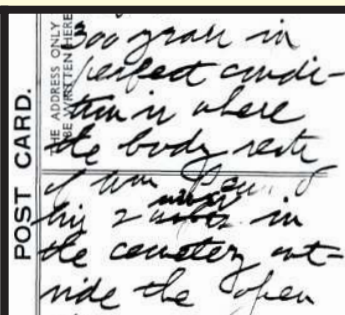
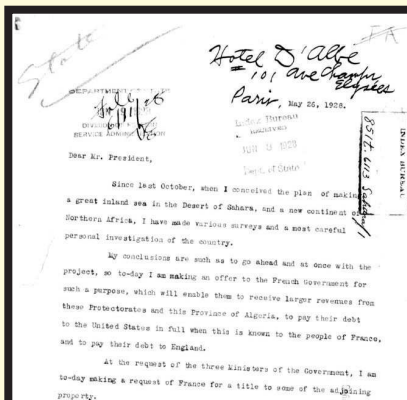


図書館報

— Seinan Toshokan pou —

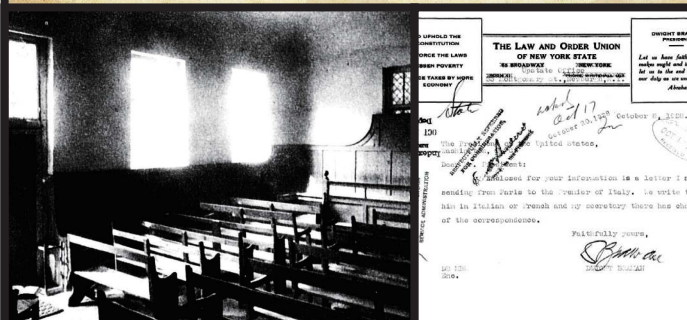
2021.
April
No.190



米国国立公文書館所蔵文書
デジタル・アーカイブ

アフリカにおける フランスの植民地主義

European Colonialism in the Early 20th Century:
French Colonialism in Africa:
From Algeria to Madagascar, 1910-1930



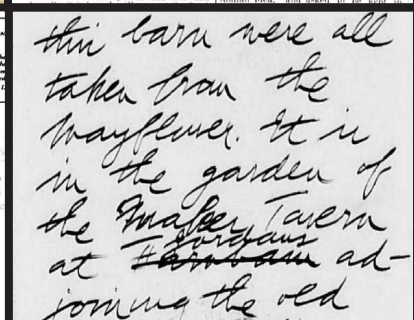
NEW INLAND SEA
The part of the Sahara which is proposed to inundate is located on the North by the Atlas and Tessaoua Mountains and whose watershed runs southward from the Atlas to the Tessaoua Mountains. The portion of the area which can be flooded is about 200,000 square miles. The depth below sea level ranges from 65 to 100 feet.

Mr. Braman proposes to construct and exploit three canals or more, the first running to the west of the Gulf of Gabes and being 15 miles long, the second, also running to the west, four miles long.

These canals would link up the lakes or "chotts," the position of which is shown in the map, and whose existence is due to the limitation of two systems of drainage, so that water is always rising, though there may be an upper crust, frequently of pure salt up to two feet thick.

SERIES OF DYKES
The country bordering on the "chotts" is known to be very fertile, only requiring water for its development. In order to exploit this area Mr. Braman proposes to build a series of dykes similar to those built at San Diego in 1898 to hold out only the water which is at present lost in the Sahara, but also the water running from the Atlas northwards, which is lost in the Mediterranean.

In all twenty dykes are contemplated if approval to their building is obtained from the Governors of Algeria, Tunis, and Morocco. These will then be planted on the hills, where there has been no vegetation for over 500 years, and this sea-



新入生にイチ押し of 1冊

- 1 日本一
図書館長 古田 雅憲
- 2 ブックレビュー
『おとなになるのび太たちへ』
学生部長 商学部 商学科 教授 工藤 栄一郎
『マテルダは小さな大天才』
図書情報課 篠崎 結衣
『スタバではグランデを貰え!』
商学部 商学科 4年 溝口 綾音
『ココ・シャネルの言葉』
文学部 英文学科 4年 萬野 萌々子

- 3-4 世界の図書館
東呉大学図書館 図書館長
李 宗永 (リ ソウカ)
- 5-6 図書館から学修支援を考える
アクティブラーニングの視点から
図書情報課 小川 ゆきえ

- 7 蔵書ギャラリー no.30
European Colonialism in the Early 20th Century: French Colonialism in Africa: From Algeria to Madagascar, 1910-1930
国際文化学部 国際文化学科
講師 伊東 未来

気がつけばもう長いこと教壇に立っている。この頃は簡便な機器があるせいか、講義の録音許可を求められることも多い。むろん差し障りなどあるはずもない。が、そんな日は(むだ話はすまい)とか(博多弁も使うまい)などと意識するからか、全体、妙にぎこちない話しぶりになってどうもイケナイ。

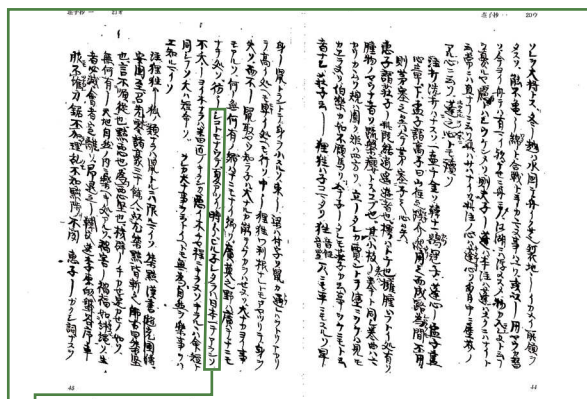
講義録と言えば、ソシュールの『一般言語学講義』の成り立ちのことを思い出したりもする。「講義」とは称しながら実際には弟子の手になる編纂本だから、ソシュールの真意のほどやいかんという話だ。検証のためにソシュール自身のメモ(手控え)や聴講者の速記録(聞き書き)や弟子たちのノート類との対照が行われた。

20世紀初頭のジュネーブとは時代も場所も変わるが、実は中世日本の漢籍や仏典の講義の場にも似たところがあった。

室町中期から江戸初期にかけて、明経博士や京・鎌倉の五山僧たちが四書五経、漢詩文集、禅籍などの漢文作品を取り上げて、平明な口頭語で解説するという形式で盛んに講義を行った。その講義の場の周辺で、今に「抄物(しょうもの)」と呼ばれる注釈書類が数多く生み出されたのだ。それらは注釈の対象となる書籍の名を冠して、たとえば『論語抄』『周易抄』『三体詩抄』『中華若木詩抄』『無門関抄』『臨濟録抄』のように「〇〇抄」と題された。今日の研究者たちが「抄物」と称する所以だ。

抄物には、①講義者自身の「手控え」(主に漢文で記された)、②聴講者の「聞き書き」(主に漢字カタカナ交じり文で記された)、③講義によらず諸注を集成した編纂本(講義の話法を模して編まれることもあった)など種々のタイプがあるが、なかでも②のタイプの抄物は講義の筆録そのもの(またはそれを整理したもの)だったから、そこに住時の口頭語(中世後期の京都弁や関東弁)が色濃く現れることになった。日本語史の研究に欠かせない資料とされる所以だ。

そういう抄物の言葉をたどれば、あちらこちらにウマイ・比喩表現があり、また多種多様なオノマトペがあり、時に珍しい方言もあって、行間から熱心な学びの様子が生き生きと浮かび上がってくる。また「声ヲ朗ラカニシテ師云」「師声ヲ励マシテ」や「師団扇ヲ指シテ、コ、ヲヨク見サシタマヘ」などのように、師匠の口調や振る舞いまで写し留める抄物などもある。先師の言行をそのまま追体験することが修行や伝授の理想だったから、何一つおろそかにはできなかったのだ。弟子たちはたぶん生真面目な表情で、先生の言行を懸命に書き留めたに違いない。



『莊子抄』という抄物の一節に次のような表現が見える。(写真参照)

仕事モ無ウテ、夏アツイ時分、昼寝シタラバ日本一デアランゾ (適宜表記を改めた)

奥書によれば、この部分の講義が行われたのは夏だったらしい。暑い一日だったのだろう、汗をふきふき熱弁をふるう先生のホンネが滲む注釈文だ。聴講していた弟子がその言葉をそのまま筆録したのだ。

そこに見える「日本一」という言葉は、語史研究の成果によれば、室町時代のみやこで「ステキ」くらいの意味で盛んに使われた流行語だった。それを口にしたのは当代一の大博士・清原宣賢(きよはらの のぶかた)、開講年次は1530年である。(われらが福岡藩祖・黒田孝高(くろだ よしたか)公が生まれる16年前。その人が後に軍師官兵衛として秀吉を日本一の座に導くなどとは、誰人の知るよしもない頃だ。)

各地に有力守護らが覇を競った時代。考えてみれば、日本一の大博士がのんきな「日本一」を口にしたのは、日本一を求める激しい闘争のさなかのことだった。天下に号令を発するのにも日本一なら夏の昼寝も日本一というわけである。その時代、「日本一」の一語のなかに、たとえば生死を懸けた激しさと、たとえば世間を忘れる快いまどろみと、多様な価値のありようを感じとったと言ってよい。

「みみをすます いつから つづいてきたともしれぬ ひとひとのあしおとに みみをすます」とは谷川俊太郎の詩の言葉だが、たった一語の向こうにも、耳を澄ませば世界が広がっている。

参考資料

※写真は『莊子抄』(土井家蔵本 巻一20丁ウラ～21丁オモテ)
大塚光信編『莊子抄』44頁・45頁(『續抄物資料集成』第7巻、清文堂出版
1981年)図書館所蔵[4階 B:通常書架 124/25/15]

『おとなになるのび太たちへ』

藤子・F・不二雄 小学館 2020年
(6階 B:通常書架 726/1/311)

学生部長
商学部 商学科 教授
工藤 栄一郎



10人のおとなが10編の『ドラえもん』のストーリーをひとつずつ選びそれらを通してそれぞれがかなえた「夢」について叙述しています。おとなが若い人たちに夢を持ってというとき、説教じみたものとなりがちですが、幸せなことに、ここでの10のエピソードにはそのようなトーンがありません。それは、どんな成功者であっても、こどもの頃はだれしもが「のび太」的な要素があったからでしょう。彼らでも、夢に向かってひたすらに努力だけをしてきたわけではなく、怠けたりくじけたりした日々がたくさんあったにちがいありません。

なお、この本には最後に編集者が選んだと思われる11編目の物語が掲載されています。そこで、弱ちくでだらしなくてダメダメなこどもだった「のび太」が、平凡な日々を送りながらも、じつはとても大きな夢をかなえたことを私たちは知ることになります。そしてその夢は、おそろく読者のすべてがこころひそかに期待して願っていたものです。

ところで、みなさんは、なにをもって「おとなになる」んだと思いますか。シンプルだけど正解するにはむずかしいこの問いを抱えながら、西南学院大学でのこれからの4年間を始めてみてはどうでしょう。

『マチルダは小さな大天才』

ロアルド・ダール著/クエンティン・ブレイク絵/宮下嶺夫訳
評論社 2005年
(6階 C:通常書架 938/D13/1-16)
図書情報課
篠崎 結衣



私が初めてこの本に出会ったのは、中学生の時でした。それ以降、悩んでいるときやパワーが欲しいという時に読み直している本の一つです。

この本は、マチルダという小さな女の子が主人公の物語です。マチルダは幼いながらも、とても賢い子で、たくさんの本を読み、いろいろな知識を身に付けていきます。そして、家族や学校の校長などの横暴で高圧的な大人たちに、その優秀な頭脳で立ち向かっていきます。しかし、マチルダは膨大な知識を持っても、そして自分が周りの子よりも家族よりもはるかに賢くても、自分のその賢さを決してひけらかさず、偉ぶることもありません。そんな謙虚な姿や、どんな状況でも懸命に自分の頭で物事を考え、どんな理不尽にも屈しない、そんな姿に心惹かれました。

みなさんの大学生活やこれからの人生、勉強について、的確なアドバイスをくれるような本ではないかもしれませんが、自分の個性を大事にすることの大切さ、自分のことを好きでいてくれる人や理解してくれる人がいることの大切さを学べる一冊です。また、本を読むことがあらゆる意味での賢さに繋がるということを改めて教えてくれる一冊でした。ぜひみなさんも読んでみてくださいね。

『スタバではグランデを買え!』

吉本佳生著 ちくま文庫 2007年
(5階 B:通常書架 337/8/25B)
商学部 商学科 4年
溝口 綾音



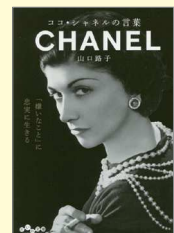
この本は、1年生の時に授業で紹介して頂いた本です。ペットボトルのお茶や映画のDVD、携帯電話の料金体系、コンビニのドミナント方式など様々な事例を用いて取引コストについて説明がしてあります。経済の仕組みが理解できる一冊です。

その中でも比較優位の話では、「どの仕事をしていても低い能力しか発揮できない人でも、自分なりの優位を発揮できる仕事がある」ということが書かれています。私はこの部分に勇気づけられました。新入生の皆さんは大学に入り、高校生活までとは違った新しい経験をこれからたくさんしていくと思います。勉強や課外活動、アルバイト、サークル等で中々上手くいかないことがあったときも、目の前の勉強や活動にまずは取り組むことで自分の向いていることや生きていく道が見つかるはずです。なにかに失敗して他の人に迷惑をかけてしまったときも次に向かって粛々と生活することで道は拓けると思います。

商学や経済学が難しいのではないかと考えている人や、興味のあることが見つからないというような人も、この本を読んで自分の興味のあることや大学で学びたいことが見つかることを願ってこの本を紹介します。ぜひ手に取ってみてください。

『ココ・シャネルの言葉』

山口路子著 大和書房 2017年
(4階 B:通常書架 159/0/758)
文学部 英文学科 4年
萬野 萌々子



私がおすすめする本は『ココ・シャネルの言葉』です。レポートを書くために本を探している時に、この本が気になり手に取ったことがきっかけでこの本と出会いました。

「シャネル」と聞くとリップや香水など化粧品のイメージが強いと思いますが、実はココ・シャネルという人物は「女の生き方改革」を成し遂げた二十世紀を代表する偉大な人物なのです。ジャージ素材の服や黒色のワンピース、リップスティックなどこれら全てシャネルが生み出したもので、自身の生涯を全て仕事へと捧げたシャネルの名言や彼女なりの考え、生き方がこの1冊でよく分かります。

大学生活という新たな環境の中で不安でいっぱいの方もいるでしょう。しかし、大学という場所は自分としっかり向き合うことの出来る非常に貴重な場であると思っています。時には嬉しいこと、楽しいこと、一方で辛くて悩むこともたくさんあると思います。そのような時、『ココ・シャネルの言葉』を開いてみてはいかがでしょうか。きっと励みになる言葉を見つけられるはずです。

「私はこうなりたいと思い、その道を選び、そしてその想いを遂げた。そのためにしたこと、人に嫌われたりし、いやな女だったとしても仕方ない!」私はこの言葉が一番好きです。ぜひ皆さんもこの本を手に取って大学生活を有意義なものにして下さい。

世界の図書館

〔台湾編〕

今回は世界の図書館特別編として、台湾・東呉大学図書館長の李宗禾先生にご寄稿いただきました。本学与東呉大学は2006年より国際交流協定を結んでおり、これまでに16名の本学の学生が東呉大学で学び、28名の学生を受入れました。

東呉大学図書館 (Soochow University Library) 111002 台北市士林區臨溪路70號 <http://www.library.scu.edu.tw/>

東呉大学図書館長 李宗禾

東呉大学の図書館は本館と別館があります。本館「中正図書館」は故宮博物館の近くにある双溪キャンパスに、別館は台北市の中心部にある總統府の隣に位置する城中キャンパスにあり、主に法学と商学分野の図書を所蔵しています。

■ 中正図書館 ■

中正図書館は1978年に落成し、台湾において初めてセントラル空調を導入した図書館です。大学唯一の真っ白な現代建築ということもあり、当時の学生に「ホワイトハウス」と呼ばれていました。縦縞が印象的な正面のデザインは本のページを想起させ、図書館が知識の殿堂であることを象徴しています。北向きの出窓は「ビジョン」をイメージしたもので、良好な視野をもって過去に囚わ

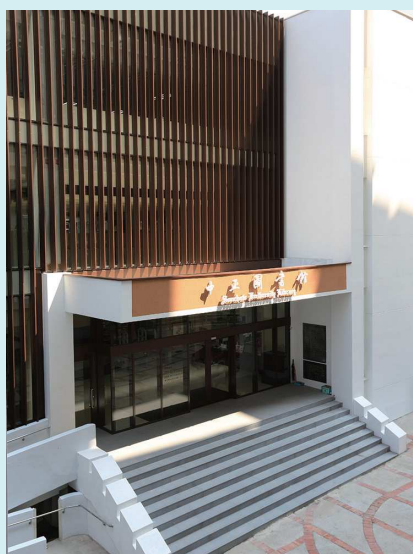
れることなく、自分の知見を育んでほしいという願いが込められています。山腹に沿って建てられ、地形に合わせてA、Bの2棟に分かれています。A棟は5階からなる閲覧を目的としたスペースで、B棟は9階からなる書庫です。また、地下には管理部門のオフィスと機関室からなるフロアがあります。

エントランスは3階にあります。ロビーに設置された二つの陳列棚は、船の帆を模しています。右側の西洋式の帆と左側の中国語の帆には、それぞれ外国語と中国語の書籍を陳列しています。この書架に加え、青い湖と波の内装デザインは、一葉の船に身を託し、浩々たる知識の海を楽しむということを意味しています。本の貸出・返却・レファレンスを行うカウンターのほか、情報検索エリアと参考書エリアがあります。1階は300席を有する自習室で、独立した入り口があります。2階は視聴覚資料室で、4階は情報検索エリアとマンガエリア、5階は機関雑誌エリア、マイクロ資料

エリアと貴重図書室があります。

本館には自習室以外に、個室の研究室も20室あります。また、向かいの第一教学研究棟に設置された第二閲覧室は、渡り廊下によって図書館と繋がっています。ディスカッションエリア、読書エリア、PCエリアがあり、学生によく利用されています。

本館の主な所蔵は人文社会科学分野のもですが、特筆すべき所蔵物として、四庫全書、明清時代の戯曲などの珍書、明清時代の版本、百冊以上の袋綴装の図書、中華民國の元最高裁判所による大理院民刑事判決などがあります。そのほか、敦煌文献のマイクロ資料も完備し、オンラインではフランス国立図書館、大英博物館、中国国家図書館などの2万件以上の所蔵資料にもアクセスできます。さらにERICによるマイクロフィルムや幅広いジャンルの音楽教材をとり揃えています。



〔写真1〕双溪キャンパスにある中正図書館の正面エントランス



〔写真2〕第一教学研究棟の第二閲覧室



リ ソウ カ
李 宗 禾

【学 歴】 明海大学応用言語学研究科 応用言語学博士

【専門領域】 テキスト言語学

【職 歴】 2000.8-2003.3 東呉大学日本語学科非常勤講師

2003.4-2005.3 拓殖大学外国語学部特別非常勤講師

2006.4-2008.3 明海大学外国語学部非常勤講師

2008.8-2013.3 東呉大学日本語学科助理教授

2013.4-現在 東呉大学日本語学科准教授

教養教育センターでセンター長を2年半務めた後、2020年2月より図書館長



台湾

■ 集密書庫 ■

集密書庫は第一教学研究棟の地下1階にあり、地下回廊で中正図書館の2階書庫と繋がっています。2008年に竣工したもので、面積は180坪です。約20万冊の外国語書籍を所蔵しています。本館は台湾で初めてデジタル式電動移動棚を採用した図書館ですが、このシステムは台湾の企業が独自開発したものです。



【写真3 閲覧エリアを兼ねた集密書庫フロア】

また、本学は中国の蘇州にゆかりがあることから、片側の壁をイオ・ミン・ペイの描いた蘇州博物館の作品で飾り、蘇州古典園林の雰囲気再現しています。本館の集密書庫は、貴重な書籍を保存する閉架式書庫であるだけでなく、快適な閲覧エリアでもあります。これも国内の大学図書館において、過去にないことです。

■ 視聴覚資料室 ■

視聴覚資料室は本館の2階にあり、面積は約200坪です。主な所蔵は映像データで、DVD、VCD、CD、ビデオテープ、カセットテープ、レコードなどが4万件あります。カウンターで手続きを済ませたら、すぐに館内

で映画や音楽を堪能することができます。また、35席のデジタル学習室を設置しており、ここでは図書館のデジタル資源利用についての教育訓練も行っています。

■ マンガエリア ■

2014年に本学OBが所蔵していた1万冊のマンガを図書館に寄付したことをきっかけに、図書館はマンガエリアを設置しました。日本語と中国語のマンガ以外に、英語、ドイツ語、フランス語のマンガも充実させ、その数はすでに3万4千冊を超えています。イベントの開催やマンガを通じた国際文化交流に積極的に取り組んでいます。2018年には、日本の高名な漫画家である弘兼憲史先生をお招きしました。名門早稲田大学の法学部で学び、企業勤務を経て漫画の世界に飛び込まれた経緯についてご講演をいただきました。



【写真4 2014年に設置されたマンガエリア】

ポストデジタル時代の到来に伴い、これまでの書籍の提供を中心としたサービスから利用者のニーズに応えたサービスを提供できる図書館への進化を図ります。



【写真5 「ホワイトハウス」と呼ばれる中正図書館】

東呉大学

- ・1900年創立 (1951年再興)
- ・6学部 26学科
- ・学生数 約13,000人

図書館

- ・地上5階建 (地下1階)
- ・延床面積 11,248㎡
- ・開館 1978年
- ・収蔵能力 921,498冊
- ・所蔵資料
 - 国内図書 591,436冊
 - 海外図書 330,062冊
 - 電子ブック 2,085,077冊
 - 国内雑誌 202タイトル
 - 海外雑誌 626タイトル
 - 電子ジャーナル 38,710タイトル

図書館から学修支援を考える

アクティブラーニングの視点から

図書情報課 小川 ゆきえ

大学図書館の業務の中心である「研究支援」と「学修支援」。このページでは、当館における学修支援の現状をアクティブラーニングの側面から振り返ってみたいと思います。（「研究支援」については当館の図書館報No.187にて、雑誌価格高騰や電子ジャーナルに関する側面からの記述がありますので、ぜひご覧ください。）

1. アクティブラーニングと大学図書館

2012年に文部科学省発行の答申^{*1}において、「アクティブラーニング」が用いられ、その後、学生が多様化する社会への適応能力を身に付ける手段の1つとして、アクティブラーニングによる学びに力を入れよう、という流れができています。2019年度文科省による調査結果^{*2}によると、全国の大学の半数以上にアクティブラーニングスペースが設置され（国立大学ではほぼ10割！）、うち約8割が「図書館内」に設置していることが示されています。よって、近年の大学図書館の多くが、学生のアクティブラーニングを支える機能を担うようになったことがわかります。

2. 本学の現状

さて、2017年4月に開館した本学の新図書館での状況を見てみます。

A アクティブゾーン

7階建の館内の1～3階は「アクティブゾーン」の名称で、会話をしながら勉強することができます。討議や話し合いなどの正に学修に直結する会話から、友達との些細な声かけまで、周囲に気兼ねなく会話ができる環境は、アクティブラーニングのインフラとも言えます。資料やパソコンを広げ、複数名で話をしながら勉強している学生さんの姿は、アクティブゾーンのフロアでは頻繁に見られる光景です。

以下、B～Dは全てアクティブゾーン内に設置しています。

B グループ学習室

Webサイトから予約が可能な学習室が10部屋設置されています。PCやスマートフォンから予約申込みを送信し、予約した部屋のドアに学生証をかざすと開錠することができます。開錠用に合計4名まで登録ができるので、予約した人が遅刻した！来館できなくなった！という場合でも、予約時に他のメンバーを登録しておけば、代理で開錠できます。

ところで、グループ学習室は、当館の旧図書館にも設置されていましたが、決して使い勝手が良いものではありませんでした。

表1は新旧図書館のグループ学習室の要素を比較したものです。

新図書館にてWeb予約システムを導入し、開錠システムと連携させたことで、使用前後にカウンターに立ち寄る必要がなくなりました。また、グループ学習室内の机やイスは、全てキャスター付きで移動しやすいものを採用したため、講義形式や、円形に並べ替えるなど、グループでの活動状況に合わせて簡単に配置を変更することができます。

10部屋のうち6部屋には、電子黒板とノートPCが常設されています。ノートPCの画面を電子黒板に映して討議したり、プレゼンター

ションの練習を行ったりすることができます。また、近年小中学校で導入が進んでいる電子黒板を、教育実習に行く前の練習として使う学生さんの姿も見られます。

【表1】新旧図書館におけるグループ学習室の要素比較

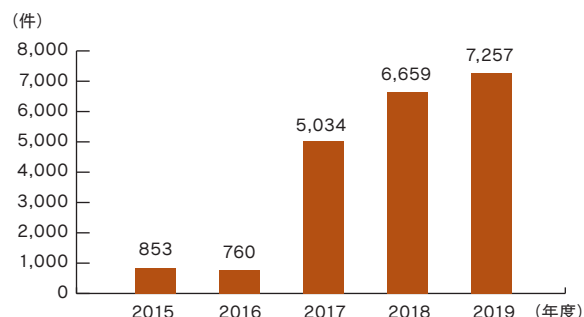
	旧図書館	新図書館
部屋数 / 総収容人数	5部屋 / 73名	10部屋 / 152名
予約方法	前日までに図書館カウンターにて利用志願書を提出。	web予約。空きがあれば直前でも予約可。
開錠方法	図書館カウンターにて学生証と引き換えに鍵を受け取る。	学生証を部屋のドアにある読み取り機にかざす。開錠用に4名まで登録可。
設備	重量がある机とイス、ホワイトボード1台～2台。	可動式の机とイス、部屋の壁自体がホワイトボード、うち6部屋に電子黒板とノートPC備付。
防音	なし。音量を下げて話す必要がある。	アクティブゾーンなので話声が周囲に聞こえてもよい。

表2は、グループ学習室の予約件数を示しています。

新図書館が開館した2017年以降、それ以前の10倍近くもの増加が見られます。部屋数や収容人数が増えたことに加えて、使い勝手がよくなったことで、多くの方にご利用いただいているのだと推測しています。

グループ学習室は、ゼミの話し合い、勉強会、プレゼン練習、面接練習、スポーツ系クラブの戦術分析等、学生のみなさんの学修や学生生活を文字通り「支援」する形で活用されているようです。

【表2】グループ学習室予約件数



C ラーニングサポートエリア

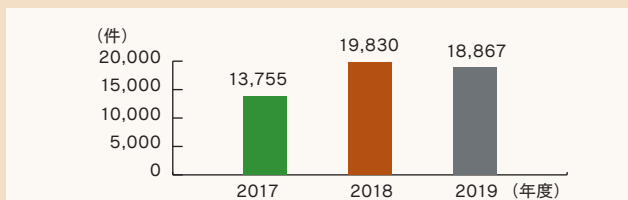
円形テーブルが並び、予約は不要で空いている席で自由に話しながら勉強できるエリアです。移動可能なホワイトボードも完備しており、授業期間中の平日は満席になることもしばしば。このエリアで課題に関する打ち合わせをした後、授業の教室へ向かう学生さん達の姿も見られます。予約して使うグループ学習室とは別の、気軽に集まって学修に関する話ができる場として、活用されているようです。

D-1 ラーニングサポートデスクと ラーニングサポートスタッフ

ラーニングサポートエリアの一端に、学生アルバイトである「ラーニングサポートスタッフ」が常駐するデスクがあります。ラーニングサポートスタッフ（以下：ラーサポスタッフ）は学部3年から大学院生までのメンバーで、ノートPC等の貸出と、学生のみなさんからの学修相談に対応しています。

2017年から稼働を開始したこのデスクには、毎年20名前後の本学の学生が採用され、シフト制で勤務しています。ラーサポスタッフが対応する備品の貸出件数は、年間で2万件近くに上っています（表3参照）。

【表3】ラーニングサポートデスク備品貸出件数



また、デスクに寄せられる相談については、「この本どこにありますか？」等の簡易的な質問から、レポート、語学学習、留学、エントリーシートなど、幅広い範囲の相談が寄せられています。特に、先生や職員には相談しづらいであろう内容も見受けられます。例えば・・・「あの科目に興味があるけど課題が難しいと聞きました。実際どうですか？」「実習と就活を効率よく乗り切る方法はあるですか？」などの、率直な相談があります。このことは、このデスクには「学生」スタッフがいる＝気軽に相談できるデスクとして相談者の方々から認識されていることによるものだと思います。このような相談を受けたラーサポスタッフは、相談者さんを励ましつつ、自身の体験を例に出したり、実際に科目を受講して得た正直な感想を伝えたりしながら対応しています。その結果、相談者の方から「教えてもらったことを参考に、チャレンジしてみます！」「1人でずっと迷っていたので、アドバイスをもらってスッキリしました！」などの前向きな反応を得ています。

ラーサポスタッフは、採用時に加え、定期的に研修を受けています。図書館スタッフとして利用者の方への接し方に始まり、学生チューターとして相談を受けた際の基本的な考え方、具体的な対応方法等についても研修を受けます。採用時研修は職員が実施しますが、年に数回、外部委託業者さんを通じて、学修支援を専門とする講師の方による研修が実施されています。

【表4】ラーニングサポートデスク相談受付件数

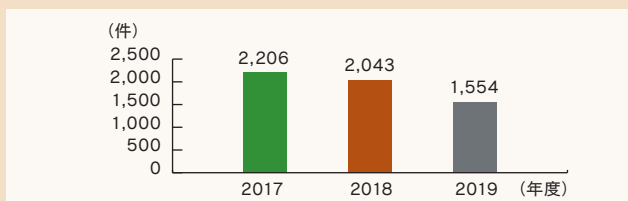


表4はデスクに寄せられた相談件数です。2019年度に減少が見られるものの、リピーターさんがおられることや、過去にデスクに相談した学生さんが、次は私が支援する立場になりたい！とラーサポスタッフに応募する例が毎年みられることなどから、このデスクでの学修支援が、学生のみなさんから、一定の評価を得ていると推測しています。

D-2 コロナ禍での対応

2020年2月に始まった新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、ラーニングサポートデスクは3月からの休業を余儀なくされました。しかし、6月からはメールやWeb会議システムを使った学修相談を再開しま

した。2021年2月末現在、メールによる学修相談では、延べ113件の回答を相談者さんへ提示することができました。また、Webによる学修相談は、88回開催し、延べ41件の相談を受けました。相談者の方と対面することが叶わず、時に相手の顔が見えない状況での学修相談に対して、ラーサポスタッフは苦勞しつつも、これまでのデスクでの勤務経験を生かし、真摯に対応してきました。10月には外部講師の方によるWeb研修が実施され、ラーサポスタッフが実際に対応した事例を元にアドバイスが得られたことにより、相談への回答の質がより良く改善されました。

加えて、「ラーニングサポートスタッフによるレポートの書き方講座」の動画^{※3}を作成し、研修を担当した講師の方による監修を経て2021年1月に学内外へ向けて公開することができました。これにより、やむを得ず規模を縮小せざるを得なかった学修支援の一部を補うことができたと思います。

通常と異なる状況に置かれた学生のみなさんを、決して多いとは言えない件数ですが、学生アルバイトであるラーサポスタッフによって支援できたことは、当館の実績の1つであり、相談者の学生さんのみならず、ラーサポスタッフの成長にも繋がったと感じています。

3. 今後の課題

当館による学修支援の一部として、上記のアクティブラーニング環境を整備してきましたが、今後の課題について考えてみます。

当館の職員が国内外の大学図書館を見学に訪れた際、他館の多数の担当者の方からのアドバイスを参考に、グループ学習室に電子黒板とノートPCを常設しました。お陰様でこれらは非常によく稼働してきました。一方、想定以上に使われたことによる機器の不具合への対応に迫られたことも事実です。今後、現実的なメンテナンスの周期を検討し、良い状態の機器を学生へ提供し続けることを目指す必要があります。同様に、グループ学習室の予約システムも、定期的なメンテナンスと同時に、万が一システムダウンした際の対応方法の検討も必要となるでしょう。

ラーサポスタッフは、確実に成長しながら図書館の学修支援の一部を担っています。しかしながら、その存在について、学内で未だ十分に浸透しているとは言えない状況です。今後、彼らの存在を継続的に広報し、学部に関連科目との協働等、より良い形での発展が期待できるよう、関連部署と連携していく必要があります。また、科目との協働を視野に入れる場合、科目の内容に合わせた知識やスキルが求められることもあるでしょう。そのための研修体制の強化や再構築について、検討する必要があります。ラーサポスタッフを日常的に指導できる立場の人材配置等も、選択肢の1つとして検討の余地があります。

筆者がよくおススメの1冊として挙げている本『14歳からの社会学』^{※4}の中で、著者は次のように読者に呼びかけます。「10年後の社会を予測するのは難しい。（中略）だから、何が起ころうとあたふたしないように免疫をつけておいた方がいい。」大学生が社会に出る前に免疫をつける手段の1つが、大学図書館における主体的な学修であると思います。大学生のみなさんが図書館を活用して学びを深めることが、今後ますます多様化する社会に対応するための、多種多様な免疫獲得に繋がることを願っています。

※1 2012年8月文部科学省中央教育審議会答申「新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～」

URL: https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo/0/toushin/1325047.htm (2021/2/22アクセス確認)

※2 令和元年度学術情報基盤実態調査「アクティブラーニングスペースは543大学(68.6%)に設置されており、国立大学の97.7%、公立大学の49.5%、私立大学の67.4%に設置されている。」とある。

URL: <https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files?page=1&toukei=00400601&tstat=000001015878> (2021/2/22アクセス確認)

※3 西南学院大学図書館webサイト>学習・研究>ラーニングサポート>レポートの書き方講座【動画】
<https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/study/learningsupport#repo> (2021/2/22アクセス確認)

※4 宮台真司著『14歳からの社会学：これからの社会を生きる君に』世界文化社、2008年[5階B:通常書架 361/Mi71/1]

European Colonialism in the Early 20th Century: French Colonialism in Africa: From Algeria to Madagascar, 1910-1930

20世紀初頭のヨーロッパの植民地主義：アフリカにおけるフランスの植民地主義—アルジェリアからマダガスカルまで、1910-1930年
[電子ブック]

植民地期の行政文書や書簡などを誰が所有しどこで維持管理するかは、とてもセンシティブな問題だ。

「この日の侵攻で現地住民に510名の死者。我々の側の死者は役人2名と狙撃兵12名、使用した砲弾566発、銃弾3万9800発」「鉄道の敷設のため各戸から男子1名を徴用した」「植民地行政による課税を拒んだ住民には、足枷をつけて町を練り歩かせている」——いずれも、実際の植民地期の文書資料にみられる記述である。私が研究のため数年暮らした、西アフリカのマリ(かつてのフランス領スーダンの一部)に関するものだ。

このような内容の資料を、かつてそれを記し支配した側がもつのか、記され支配された側がもつのか、もしくは第三者か。あるいはあえて放棄したり維持管理をおこたったりして「なかったこと」にするか—アフリカとヨーロッパの関係に限らず、世界各地の近代の植民地主義につきまとう問いである。

世界各地で反植民地運動が激化していた1958年、フランスのシャルル・ド＝ゴール大統領は各地の植民地に対し、フランス共同体への残留か即時独立かを問う住民投票の実施を認めた。多くの植民地は、宗主国に都合が良いようにデザインされたインフラや経済構造から抜け出していばらの道を歩むことに不安を覚え、フランス共同体内の自治共和国という立場を選択した。その中で、西アフリカのギニア(当時のフランス領ギニア)で実施された投票では、95%が“non”、つまりフランスからの完全独立を選択した。その際、のちのギニア初代大統領となるセク・トゥーレが述べたとされる言葉「我々は隷属の下での豊かさよりも、自由の下での貧困を選ぶ」は、独立から60年以上たった今も西アフリカの人びとの誇りである。

フランスは怒りのうちにギニアから引き上げる際、周辺地域へのけん制の意も込めて、植民地支配のために「投資した」あらゆるもの—行政府内の水道のタブ、下水道の配管地図、電話機などのこまごましたものまで—を持ち帰り、薬品や

行政文書を焼き払って去っていったという。そもそも植民地支配自体が正当ではなく、資料の保管の主体にも正解などない。しかし、保管すらせず焼き払った罪はあまりに重い。

このコレクションは、フランスでも旧フランス領のアフリカ諸国でもなく、第三国・アメリカ合衆国のナショナル・アーカイブに保管されている、アフリカにおけるフランス植民地主義に関する資料を電子化したものである。1910～1930年までのアメリカ領事館の業務に関連する研究結果や報告書、書簡などが多数収められている。1ページの書類から数百ページにおよぶ報告書まで、資料の性質だけでなくその分量も多岐にわたる。

このコレクションに収められている資料が作成された期間は、フランスの植民地支配開始から数十年たち、かつ反植民地運動の抑え込みもうまくいっていた、いわば植民地経営の安定期であった(もちろん、この間にも支配に抵抗し続けていた現地の人びとは数多くいたわけだが)。そうした時期にフランスとアメリカの間で交わされた資料の特徴であろう。資源大陸アフリカを「売り込む」ような天然資源に関する報告書も複数見られる。

資料の内容そのものは、淡々粛々としているものがほとんどである。人口統計、行政区分地図、領事の視察行程の調整にかかる文書など、いままたちになじみがある「形式ばったお役所文書」そのものである。これらを専門とする研究者でもなければ、このコレクションに収められた資料の内容をひとつひとつ確認する必要はないかもしれない。しかし思い出してほしい。その粛々とした紙の背後に、収奪され虐げられた無数の人びとの様々な生活があったのだ。このような過去を私たちに想起させるだけでも、「文書を残す」という営為は大きな役割をもっている。

こうして電子データベース上に蓄積され公開されることで「誰が所有しどこで維持管理するのか」という問いから解放された資料を、私たちは皆で守っていかなくてはならない。

編集後記

今年度の4月は2年ぶりにキャンパスに活気があふれた中でのスタートとなりました。その後、大学生活はいかがでしょうか。図書館は大学での皆さんの学修をサポートしています。資料の探し方が分からない、探している資料が見つからない等のちょっとしたことでも大丈夫です。分からないことがあれば、図書館1階カウンターまでお気軽にご相談ください。

(H・K)

西南学院大学図書館報 No.190

2021年4月30日発行

編集 図書館報編集委員会

発行 西南学院大学図書館

〒814-8511 福岡市早良区西新6丁目2番92号

TEL (092) 823-3426

<https://opac.seinan-gu.ac.jp/library/>

図書館報バックナンバーも上記サイトに掲載しています。